

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	枳地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・高千穂町	450006	1	平成23年度～ 平成25年度	平成23年度～ 平成25年度
活性化計画の区域				
枳地区（宮崎県西臼杵郡高千穂町）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等機能の確保	12ha	12ha	100%	

(コメント)

老朽化した揚水機からの管路を配水池まで改修整備することにより、従来の機能確保された農地が12.0haとなり目標を達成することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	管水路工 L=594.8m			高千穂町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
枳揚水組合	平成23年度	平成25年度	平成26年3月27日	
事業の効果				
当地区は、営農に対する地形条件が非常に悪く、生産活動に不可欠な農業用水は揚水機からの取水となり、老朽化した送水管からの漏水も数年前に発生し慢性的な水不足をもたらしていた。 今回、管水路や管理道を整備することにより、施設の維持管理労力が大幅に軽減されることにより営農条件が大きく改善され、農地の保全が図られた。				

3 総合評価

(コメント)

当地区の農業は、水稲をベースに畜産、たばこ、野菜等の園芸作物を組み合わせた複合経営を展開している。水稲については、高品質・良食味米の生産を目指し、肉用牛の飼料としての稲わら等、副産物の活用も含めて、複合経営の中で欠くことができない作物である。しかし、農業従事者の高齢化、若者の流出に加え、老朽化した用排水施設等の維持管理費の増大は、生産意欲を低下させる一因ともなっていた。

今回、本事業により営農の基盤となっている管水路を整備したことで、水不足の解消・低コストを実現し、生産性の向上・農業収入が安定することで生産意欲が向上し、後継者育成や農地の保全が図られ、地域の活性化及び定住に期待できるものとする。

4 第三者の意見

(コメント)

当地区は、水源に恵まれない地域であったが、昭和43年に揚水機場と管路の整備をしたことで農地の7割が水田としての利用が可能となった。しかし、老朽化による漏水により水不足も発生していた。今回、幹線水路や管理道路を整備することにより、水不足が解消され、水稲、肉用牛、野菜、花き等を組み合わせた安定的な複合経営を持続的に展開する条件が整った。今後、生産性の向上や収益の安定化が図られることで、農業後継者の定住が進み、高度な農地利用のもとに一層の地域活性化が図られるものと見込まれる。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。